

(3) 昭和43年度青少年教育指導員

管内	氏名	住所
信夫	高橋 定	福島市飯坂町字十綱町9
伊達	山際 健次郎	伊達郡梁川町
安達	原 瀬 宗 彦	安達郡本宮町荒町19
郡山	菊地 健太郎	郡山市虎丸町24-5
岩瀬	小野 三 郎	須賀川市上北町84
南会津	二宮 佐 吉	南会津郡下郷町大字大松川
北会津	秋月 鏡 観	会津若松市日新町16-33
耶麻	山口 彰 一	耶麻郡熱塩加納村加納字藤原
両沼	齋 藤 洋 一	河沼郡会津坂下町青木
西白河	円谷 和三郎	西白河郡西郷村
東白川	二階堂 馨	東白川郡矢祭町
石川	穂 積 安 光	石川町新町25
田村	三 坂 哲 元	田村郡大越町大字上大越字蟹沢
いわき	水 野 順 平	いわき市泉町泉 198
双葉	渡 部 正 義	双葉町長塚字町西 1
相馬	島 義 重	相馬市上須萱

(4) 効 果

青年の学習や、研修の会、あるいは青少年団体の行事に参加し指導助言にあたり、県行政や指導の趣旨を波及し、地域の声を県に反映する貴重な存在となっている。設置して第2年度になり、その存在も地域に理解されてきたので、今後の活躍が期待される。

第3節 成人(婦人)教育

1. 概 要

本年度は、家庭教育学級・成人学校の普及と高齢者学級の充実、婦人学級の拡充、高等学校開放講座の充実と社会通信教育の普及、PTAおよび婦人団体の指導者の養成、健全な活動の助長に重点をおいて推進してきた。

家庭教育学級の普及充実については、家庭教育研究集会をとおして、その企画運営等について具体的研究をおこない、婦人学級については文部省委嘱・県研究婦人学級を拠点としてその充実、普及をはかり婦人学級生大会をとおし、反省と今後の課題について検討してきた。

高等学校開放講座については、県下6高校に開設を委嘱し施設を地域住民に開放し、社会通信教育については、郡山市において研究集会を開催し、共同学習班の育成をはかり普及・充実につとめてきた。またPTA、婦人団体については、研究集会や指導者講習会を中核として、団体の民主的運営、指導者の役割等を身につけるべく指導者の養成に努めてきた。さらに一般行政との密接な連携、団体相互の連絡提携などにより、各種の条件整備をはかってきた。

2. P T A 指導者研修会

(1) 目 的

PTAの組織、運営、活動上の諸問題について研究協議し、PTAの地域活動の助長をはかる。

(2) 主 催

福島県教育委員会
福島県PTA連絡協議会

(3) 期日・会場・参加者数

- 昭和43年5月24～25日
- いわき市小名浜磐城体育センター
- 358名

(4) 参加対象者

- 小中学校PTA幹部指導者

(5) 講師および助言者

① 講 師

福島県教育庁社会教育課長 佐藤 正義
福島県教育庁社会教育課主幹 大越源三郎
福島県教育庁義務教育課主幹 天野 幸夫

② 助 言 者

県教育庁社会教育課員・県教育事務所社会教育主事

(6) 研究内容

① 講 義

PTAの組織・運営・活動上の諸問題について。

② 協 議 事 項

- ア. PTAはどんな組織でどのように運営したらよいか。
- イ. 会員のための学習活動はどのようにすすめたらよいか。
- ウ. こどもの校外生活指導をどのようにしたらよいか。
- エ. こどもの生活環境の浄化活動をどのようにしたらよいか。

(7) 効 果

時代の進展に即応するPTAの望ましいあり方について具体的事例を通して研究協議し、方策が検討され、本質的活動についての理解が深まり、幹部指導者としての資質と自覚が高められたので、PTAの地域活動の助長に貢献したと思われる。

3. P T A モデル地区育成

(1) 目 的

PTAの本質的活動をすすめるため、各教育事務所管内より1PTAをえらんで研究を委嘱し、組織、運営、活動についての実践的研究を深め、その成果を県下に発表し、PTA活動の助長をはかる。

(2) 主 催

福島県教育委員会

(3) 研究テーマ

① 共通テーマ

望ましいPTAの組織、運営はどのようにすればよいか。

② 選択テーマ

- ア. 会員の教養を高めるための活動
- イ. 児童、生徒の校外生活指導活動
- ウ. 地域社会における環境の浄化、改善活動

(4) 研 究 期 間 昭和43年7月より昭和44年3月まで

(5) 研究PTA (各教育事務所1PTA 計16PTA)

(6) 効 果

研究PTAにおいてはそれぞれ地域の特性、PTAの特色を明らかにし、組織、運営、活動上の現状とその問題点を分析して研究計画を立て、父母と教師が一体となって真剣に実践的研究を進めてきたので多大の成果をおさめた。研究報告書は全県下の小・中PTAに配布したので波及的